

# 中学校 第3学年 外国語科 学習指導案

千葉県旭市立海上中学校  
教諭 佐野 良子

**単元名** Lesson 3 Space Tourism (7時間)

**単元の目標 (Goal)** 【内容理解】 宇宙旅行や宇宙ごみについて話されていることを理解する。  
【活動】 行動や状態の説明を含めて、クラスメートを紹介することができる。

**本時(第4時)のめあて** 本文の要点をつかみ、True or False の問題に答えることができる。



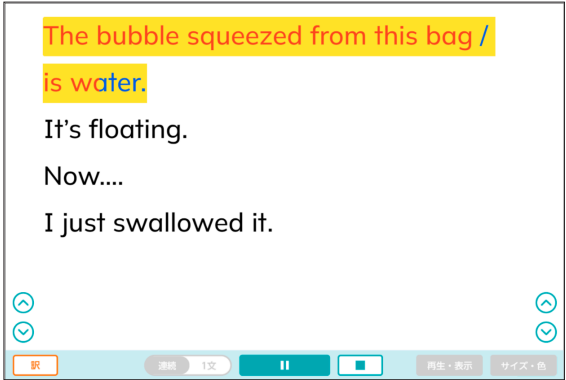
**指導時期** 6月

## 指導者用デジタル教科書(教材)活用の意図・目的

「指導者用デジタル教科書(教材)」は、英語が得意な生徒の興味・関心をさらに引き出し、英語が苦手な生徒の理解を助けるために効果的なツールである。単元の導入では、扉についている動画を視聴し、宇宙という題材に対する興味・関心を引き出すことができる。文法の学習時は、自分達で文構造について調べたあと、動画の説明を聞くことで、より理解を深めることができる。本文を読む際は、新出単語の Repeating や音読練習はもちろん、「本文 Picture-Story Show」を利用して、視覚的に簡単に本文の Introduction や Q&A による確認をすることができるなど、様々な場面での活用が考えられる。

## 本時(第4時)の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入 (13分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「指導者用デジタル教科書(教材)」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。</li> </ul> <p>1. 授業の導入(前時までの復習)</p> <p>(1) Lesson 3 Part 1 本文を音読する。(1人→ペア)</p> <p>(2) 本文に関する絵を使って、本文には何が書いてあったかをペアに伝える。(Retelling) 1回30～40秒、ペアを変えて3回行う。</p> <p>(3) 3 Minutes Writing Retellingした内容を書く。</p>	<div style="border: 1px solid gray; padding: 10px;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「本文 Picture-Story Show」の「絵・写真のみ表示」を利用して、Retellingを行う。(Lesson 3 Part 1)</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;">   </div>

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
展開 (25分)	<p>2. 本文の導入、読解 (Lesson 3 Part 2)</p> <p>(1) Introduction (絵や写真を使って本文の内容を紹介する。)</p> <p>(2) Reading Time (初見読み)</p> <p>(3) Eye Shadowing (音声を聞きながら、本文を目で追いかける。)</p> <p>(4) Words &amp; Phrases (新出単語の指導)</p> <p>(5) Slash Reading (スラッシュ読み)</p> <p>(6) Pair Reading (ペアで1文ずつ交互に読みあう。)</p> <p>(7) True or False (1人で解答を考える→ペアで確認する。)</p>	<p>●(1)(3)(4)(5)(7)で「指導者用デジタル教科書(教材)」を使用する。</p> <p>(1) Introductionでは、「本文 Picture-Story Show」の「絵・写真のみ表示」にチェックを入れ、絵や写真を使いながらJTEやALTが本文についての導入を英語で行う。必要に応じて、黒板で補足説明をする。</p> <p>(3) Eye Shadowingでは、「リーディング」機能で「文字サイズ」を「特大」にして、「カラオケ表示」で音声を聞きながら文字を追いかけて、大まかに本文を把握する。</p> <p>(4) 「新出語句一覧」を使い、2回程度繰り返して読む練習をする。その後、2回ずつ書く練習をする。</p>  <p>(5) Slash Reading (スラッシュ読み) では、「リーディング」機能の「再生・表示」を図のようにするとやりやすい。生徒はリピートしながら、自分の教科書の本文にスラッシュをひく。</p>  <p>(7) True or Falseの解答を全体で共有する際、本文のどこに答えが書いてあるか、「リーディング」機能で読み上げたり、マーカーを入れたり、カーソルを合わせて黄色く目立たせたりすると、読解力の向上に役立つ。</p> <p>(例)</p> 

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
まとめ (3分)	<b>3. 自由学習</b> ● 以下の中から自分で選び、各自今日の授業の復習をしたり、学びを深めたりする。  ① 本文のQ&A ② Words & Phrases 復習 ③ 音読 ④ ドリル学習 ⑤ その他、自分の学習	● ②③で「学習者用デジタル教科書」を使用する。  ● 生徒は自分のタブレットで「学習者用デジタル教科書」を使って音声を確認したり、音読練習をしたりすることもできる。 ● ここでは、学習課題（①～⑤）や学習形態（個人・ペア・グループ）は自分で選択して学習を進める。

### 指導者用デジタル教科書(教材)を活用したことで得られる効果

視覚的情報と組み合わされた音声の使用は、英語学習においてとても効果的である。「指導者用デジタル教科書(教材)」を活用すると、指導者は、画面を準備してボタンを押すだけで正しい発音を聞かせたり、会話の雰囲気や伝えたいことができる。さらに、ALTの有無に関わらず、同じ質の授業を複数のクラスで展開でき、ここだけ繰り返したいといった細かな調整も容易にできる。また、教科書本文に関連する画像を表示してIntroductionやRetellingをすることもできるなど、準備時間の短縮かつ生徒の理解を助け、効果的な学習をすることが可能になる。

学習者に与える効果としては、「リーディング」機能のカラオケ表示を使用することで、文字と音声を結びつけやすくなるほか、「本文 Picture-Story Show」を使用することで、どのような表現が、どのような場面で、どのように使われているかを理解しやすくなることなどがあげられる。さらに、「学習者用デジタル教科書」を使用すれば、個々のレベルや意欲に合った方法を選んで学習することができる。自分で選択して学習することは、学習意欲の向上につながると考えられる。